



夢ある明日の 交野のために



▽交野市産業振興基本条例に基づき基本計画により、活発な事業活動を展開できる環境創出に注力します。

▽災害時に援護を必要とする方々を地域で支援する「災害時要援護者支援プランモデル」の名称を改め、26年度からはすべての地区で取り組みます。

▽交野で育つ人が次の世代を育てていくというつながりを意識し、婚活事業や交野おりひめ大学の開校が実現しました。

▽交野の大切な自然を感じ、楽しみながらの持続可能なまちづくりを旨として、市民のみなさんと共に策定した環境基本計画のプロジェクトが動き始めています。

▽交野のシンボルである天野川をみなさんに、より親しんでいただけるよう、道しるべの整備や桜の植樹を行っています。

本年は、私の任期の総仕上げの年になりますので「みんなの『かたの』基本構想」のもと、交野の将来像の実現に向け、新たな決意を持って諸施策を推進してまいります。

■ 各部門の方針 ■

総務部

- ◇機構改革 防災・防犯、人権・各種相談業務などを担っていた暮らしの安心課の所掌事務を見直し、防災・防犯などを所管する課と、人権・各種相談業務を所管する課へと再編し、防災対策へ注力するとともに、人権・相談所管課をゆうゆうセンターへ配置することで、相談窓口の一元化を図ります。
- ◇交野おりひめ大学 包括協定を締結している摂南大学と連携しながら、「そば学科」「森のあーと学科」に続く新しい学科も順次開講し、交野ら

しさにこだわった「人おこし・まちおこし」を学び、楽しみながら進めていきます。



▲そばの種まき

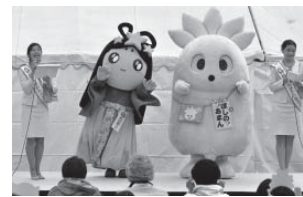
▼森のあーと学科 (かたのカンヴァス)

地域社会部

- ◇防災行政無線 防災行政無線のデジタル化と、子局の増設により、災害時の情報提供手段の拡充を図ります。
- ◇災害への備え 昨年に引き続き、災害時用品の分散備蓄を拡充し、国や府の最新の災害被害想定に対応すべく「交野市地域防災計画」を改定します。
- ◇防犯対策 地域の防犯カメラ設置に対する補助を新たに実施します。また、市内防犯灯のLED化についても引き続き進めます。



- ◇人権施策 「交野市男女共同参画推進条例」の制定と、男女共同参画コーナーを設置し、DVなどへの相談体制の強化を図ります。
- ◇産業振興 事業者の経営相談事業や人材育成活動への支援を行います。また、産業団体と連携した「かたのPRキャラバン隊」を充実させ、交野を市外へPRします。



▲かたのPRキャラバン隊

市民部

- ◇パスポートコーナーの設置 府からの事務移譲により、10月からパスポートコーナーを設置します。また、土曜日の市民サービスコーナーにおいて、戸籍の発行を開始します。
- ◇国民健康保険 税務室と連携し、徴収事務の効



▲市民サービスコーナー (ゆうゆうセンター)

- 率化や体制強化を図るとともに、保険料のコンビニエンスストアでの納付を導入し、市民の利便性の向上に努めます。
- ◇医療費の適正化 レセプト点検の強化と、生活習慣病予防対策として特定健診受診率の向上を図り、国民健康保険会計の健全な運営に努めます。



2月27日(木)、26年第1回定例会が開かれ、冒頭、中田市長が新年度に臨む施政方針を表明しました。

安心を軸として、さらなるまちの活性化を推進するための施政方針要旨をお伝えします。

問い合わせ 行政経営室(TEL 892・0121)

■ 施政方針の思い ■

一昨年に、国民の大きな期待とともに政権交代が実現し、デフレからの脱却を目標に積極的な経済対策に着手されました。

1月の月例経済報告においても景気は緩やかに回復しているとの基調判断が出されていますが、広く市民生活に景気の好調感を感じるまでには至っていないところです。

大きな方向性を決めるのが国政の役割ならば、市民一人ひとりの暮らしと安全を守っていくことが、基礎自治体である我々の使命と考えており、この責任をしっかりと果たしていく覚悟を持って、市政運営に臨んでまいります。

昨年、一昨年とこれまで経験したことのない記録的な集中豪雨に見舞われ、本市でも広範囲に甚大な被害が発生しました。被害に遭われたみなさまには、心からの御見舞いを申し上げます。

この経験を生かし、ゲリラ的な集中豪雨も想定した、浸水についての総合的な対策の検討を進めています。

交野市を取り巻く環境としては、少子高齢化や生産年齢人口の減少、公共施設インフラの老朽化など社会潮流と同様の傾向です。

人口減少社会に突入した現在、地方自治体を取り巻く環境は、決して楽観できるものではありません。

自主財源に乏しく、地方交付税などの依存財源に頼るところの多い本市にとっては、持続可能な行財政システムの構築に全力を挙げて取り組む必要があります。

今後の財政見直しについては、市税収入の大幅な伸びが見込めない一方、社会保障や公共施設更新に伴う財政の負担増加など、厳しい状況に変わ

平成 26 年度当初予算

一般会計	231 億 3,979 万 4 千円
国民健康保険特別会計	83 億 8,469 万 5 千円
下水道事業特別会計	18 億 9,583 万 3 千円
介護保険特別会計	51 億 2,308 万 3 千円
公共用地先行取得事業特別会計	3 億 1,243 万 2 千円
後期高齢者医療特別会計	10 億 6,957 万 4 千円
水道事業会計	24 億 2,871 万 7 千円
総額	423 億 5,412 万 8 千円

わりはありませんが、将来を見据えて、力を入れるべき事業を絞り込み、積極的に取り組んでまいります。

26年度予算におきましては、すぐに成果が表れるものばかりではありませんが、元気で安心な暮らしのための先行投資型の予算編成とさせていただきます。

■ 動の三期目を 振り返って

22年9月に、市長として3期目の市政運営に携わってからも4年を迎えようとしています。

3期目の市長選挙にあたって掲げたビジョン「8万人市民がイキイキ、ワクワク出会う」といふ思い、感動を実感できる「かたの」の実現を目指すため、みなさんの「ご理解・ご支援をいただきながら全力を傾注してまいりました。



▽市制40周年を契機に、「交野いきいきマルシェおりひめの駅」や「かたのグルメまつり」などを事業者のみなさんを中心に展開し、地域活性化につながる動きとなっています。



環境部

◇太陽光発電システム 府補助事業の再生可能エネルギー等導入推進基金事業を活用し、公共施設への太陽光発電システム設置工事を実施します。



▲太陽光パネル(市役所第2別館屋上)

◇新ごみ処理施設整備 25年度に都市計画決定の事務手続きが完了し、施設計画地の造成工事に着手しました。今後は、施設本体部分の建設および施設の水道敷設など工事を実施します。

なお、周辺環境への影響は、環境アセスメント実施により、軽微であると結論づけられていますが、周辺住民の方々の不安を取り除くよう、情報の提供に努めます。

学校教育部

◇新学校給食センターの建設 用地造成や施設建設工事を発注します。

◇35人学級の導入 市教育委員により策定された「交野市学校教育ビジョン」に基づき、市独自に小学3・



4年生に35人学級の導入を計画しています。

◇教育センターの機能強化 教育センターに臨床心理士を雇用し、センター機能の強化と、児童生徒や保護者に対する組織的・計画的な支援を行います。

生涯学習推進部

◇文化財保護 大規模な土地開発事業、区画整理事業に伴う発掘調査や、24・25年度に実施した私部城発掘調査成果を報告します。



▲私部城発掘調査

◇子どもの読書活動の推進 市内小・中学校の4校を対象に、学校図書館職員を配置します。また第2次交野市子ども読書活動推進計画を策定します。



消防本部



▲救命講習会の様子

◇救命率の向上 市民や小・中学校の児童・生徒を対象に、AEDを使用した普通救命講習会や救命入門コースなどの出前講座を開催し、応急手当の普及に努めます。

水道局

◇送・排水管の耐震化 送・排水管および「企業団受水管」の耐震化を計画的に進め、安心・安全な水道水の安定給水に努めてまいります。



▲星の里浄水場

交野の魅力を大きく育てたい

交野の魅力と価値を高めていく際の地域資源は「人」であると考えています。

地域や各種団体のみなさんをはじめ、本当にたくさんの方々に頑張ってもらいたい。事業者のみなさんにも交野の良さや魅力をさらに磨き上げるために、さまざまな取り組みに挑戦していただいています。そんな市民のみなさんに触発されて、職員たちもそれぞれの場で、持てる力を発揮して仕事に取り組んでいます。

市民・地域・事業者、そして職員の間が互いにかみ合い、交野市はさらにパワーアップしていくことを確信し、私自身もその役割をしっかりと果たしていきたいと思っています。

七夕のふるさと、都市近郊の豊かな自然環境や農業といった交野の個性と強みを発揮し、笑顔と元気を未来へ引き継ぐために、永住するまちに選んでいただけるよう、暮らしの夢の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

交野市長 中田仁公

健やか部

◇子ども・子育て支援事業計画 27年4月から「子ども・子育て支援新制度」が施行されます。

新制度では、乳幼児教育・保育の総合的提供、待機児童対策、地域の子育て支援の充実を図り、市民ニーズを十分に把握した「交野市子ども・子育て支援事業計画」を策定します。

◇幼児園の遊具入れ替え

26年度は、あさひ幼児園の遊具入れ替えを含めた園庭整備を実施します。



▲あさひ幼児園 園庭

◇こども医療費助成制度 26年7月診療分から通院医療費の助成対象年齢を、現在の就学前から、小学3年生終了までに引き上げ、制度名称を「乳幼児等医療費助成制度」から「こども医療費助成制度」に変更します。

◇健康と食育 健康と食育の両分野を一体とした「交野市健康増進・食育推進計画」をもとに、市民の生涯を通じた健康づくりの推進に取り組みます。



福祉部

◇障がい者(児)福祉 第3次障がい者(児)福祉長期計画、第4期障がい者福祉計画を策定します。

また、基幹相談支援センターを開設し、虐待防止を中心としたネットワークの強化を図るなど、障害者総合支援法を円滑に運用します。

◇地域福祉の推進 「ごきげんさん、あいさつ声かけ運動」と、避難行動要支援者支援事業の推進に努め、普段の見守りから災害時に助け合える仕組みにつながるよう地域支援を継続します。



◇高齢者福祉 地域包括ケアの考え方に基づき、医療と介護の連携を強化します。高齢者が元気でいきいきと住み慣れた地域で生活できるよう地域・関係機関との連携を図り、新元気アップ体操などの介護予防事業を展開します。



▲いきいきランドで元気アップ体操

都市整備部

◇まちづくり 第二京阪道路沿道や新たな市街地形成にあたっては、秩序ある計画的な市街地形成が図られるよう、技術的支援と必要な都市計画手続きを実施し、適切な土地利用の規制誘導を行います。



▲第二京阪道路と星田北

また、「交野市景観まちづくり計画」に沿って、市民レベルで実践する景観形成の普及に取り組みます。

◇住宅の耐震化 地震災害から市民の生命・財産を守るため、木造住宅の耐震化促進に取り組みます。

◇道路整備の充実 道路橋梁長寿命化計画の策定作業と、計画に基づき、社会資本整備総合交付

金を活用した、補修事業を継続します。幹線道路等舗装の維持補修については、25年度に実施した路面性状調査に基づき、順次実施します。

◇緑豊かなまちづくり 都市公園・ちびっこ広場の遊具補修・点検を計画的に進めます。

また、地場産農産物の良さを再認識してもらえよう、農産物販売の充実とともに、遊休農地の利用、農業ボランティアの育成、農業体験事業を進めていきます。



▲農産物直売所(藤が尾)

◇下水道整備 「下水道長寿命化計画」に沿って、老朽管の更新と、大雨時の雨水流入や地下水などの不明水対策を図り、長寿命化計画区域の拡大を検討します。重要な路線下の污水管渠について、損傷状況の点検・調査を行います。